

人手不足が課題の農業  
と、障害者が活躍する場を  
模索する福祉。異分野の両  
者が手を組む「農福連携」  
が各地で実践されている。

幸田町でも障害者がブド  
ウ農園で気持ちよく汗を流  
しているという。現場に足  
を運んだ。

●黙々と真剣に  
四月中旬、幸田町坂崎に  
ある平岩農園のブドウ畠の  
ビニールハウス内は三〇度  
を超す暑さだった。その中  
で、鎌で草刈りをする人々  
の姿があった。木の周り  
の草を慣れた手つきで黙々  
と刈っている。少し休憩し  
てまた三十分作業する。時  
々タオルで汗をふき、真剣  
な表情で続けていた。

働いているのは、NPO  
法人ハートフルフレンズ  
(岡崎市牧御堂町)が運営  
する事業所に通う知的の障  
害者たち。事業所の施設外就  
労という形で、昨年から八  
人が交代で毎日四人ずつ農  
園に出向いている。

法人従業員の佐藤亜矢子  
さん(四〇)が、以前この農園  
で働いていたのが縁だっ  
た。事業所での仕事は自動



苗箱洗いをする人たちを笑顔で見守る平岩さん(左から2人目)=いざれも幸田町坂崎の平岩農園で



黙々と草刈りをする障害者たち

●黙々と草刈りをする障害者たち

## ブドウ栽培で農福連携

夫人が増えた。あまり風邪をひかなくなつたんで  
す」と意外な効果を漏らす。農園に通う井麻田平  
さん(二十九)は「自然の中で毎日作業するのが楽しい。飽  
きない」とうれしそう。佐藤さんは「二つの作業を集  
施設職員が連携を模索して

●両方を知る存在  
農園では以前他の福祉  
施設職員が連携を模索して  
きた。

「一人によって異なる得意  
不得手、その作業を、どれ  
くらいの時間、任せられる  
のか」。当初は試行錯誤の  
連続だったが、二人は毎日  
のように話し合いを積み重  
ね、それぞれにとつて望ま  
しい働き方を導き出していく  
つた。

杉浦代表は「労働力に困  
める農家と安定的な仕事を求  
める事業所は互いのニーズ  
を満たし、協力できる関係  
だと一年間で感じてきた」と  
笑顔を見せる。

車部品の組み立てが中心だ。穂子さん(六〇)に相談した。  
が、景気や時期によって仕事量や賃金にばらつきがある。法人は安定した働き口を探していた。

佐藤さんは二〇一六年六月、農園を経営する平岩さん(五十九)  
と快諾。すぐに提携が始ま  
った。障害者たちは現在、農園で気持ちよく汗を流  
しているといふ。現場に足  
を運んだ。

●黙々と真剣に  
夫人が増えた。あまり風  
邪をひかなくなつたんで  
す」と意外な効果を漏ら  
す。農園に通う井麻田平  
さん(二十九)は「自然の中で毎  
日作業するのが楽しい。飽  
きない」とうれしそう。佐  
藤さんは「二つの作業を集  
施設職員が連携を模索して  
きた。

●両方を知る存在  
農園では以前他の福祉  
施設職員が連携を模索して  
きた。

「一人によって異なる得意  
不得手、その作業を、どれ  
くらいの時間、任せられる  
のか」。当初は試行錯誤の  
連続だったが、二人は毎日  
のように話し合いを積み重  
ね、それぞれにとつて望ま  
しい働き方を導き出していく  
つた。

杉浦代表は「労働力に困  
める農家と安定的な仕事を求  
める事業所は互いのニーズ  
を満たし、協力できる関係  
だと一年間で感じてきた」と  
笑顔を見せる。

## 細谷 真里



▶112◀

ほそや・まり  
市出身。  
「農業と福祉の連



携の実現には、畠違いの人々が協力し合うことが不可欠だ。容易なことではないが、みんなに頼りにされ、試行錯誤して実現にこぎ着け、障害者たちの生き生きとした表情を引き出していたのが印象的だった。岡崎支局。

「今では、なくてはならない存在」と平岩さん。家族四人で農園を経営するが自然に近く、体に優しい農作物を作りたい」という思いから、農薬散布をできるだけしない栽培法を実践している。そのため、虫や雑草が多く、作業の手間もかかる。「私たちだけ

は「通い始めてから体が丈  
事をしてなしている。  
●思わぬ効果も  
さんは「手伝ってもらえる  
ことがありますかもしれない」  
法人の杉浦桂子代表(二二)  
と快諾。すぐに提携が始ま  
った。障害者たちは現在、農園で気持ちよく汗を流  
しているといふ。現場に足  
を運んだ。

●黙々と真剣に  
夫人が増えた。あまり風  
邪をひかなくなつたんで  
す」と意外な効果を漏ら  
す。農園に通う井麻田平  
さん(二十九)は「自然の中で毎  
日作業するのが楽しい。飽  
きない」とうれしそう。佐  
藤さんは「二つの作業を集  
施設職員が連携を模索して  
きた。

●両方を知る存在  
農園では以前他の福祉  
施設職員が連携を模索して  
きた。

「一人によって異なる得意  
不得手、その作業を、どれ  
くらいの時間、任せられる  
のか」。当初は試行錯誤の  
連続だったが、二人は毎日  
のように話し合いを積み重  
ね、それぞれにとつて望ま  
しい働き方を導き出していく  
つた。

杉浦代表は「労働力に困  
める農家と安定的な仕事を求  
める事業所は互いのニーズ  
を満たし、協力できる関係  
だと一年間で感じてきた」と  
笑顔を見せる。



障害者が働く場  
一般企業への就職のほか、一般企業と正規の雇用契約をする「就労継続支援A型事業所」で働くケースと、雇用契約は結ばずに就労より訓練やリハビリを目的とした施設「就労継続支援B型事業所」に通う形がある。ハート

フルフレンズはB型。就労継続支援事業は2006年の障害者自立支援法(現障害者総合支援法)施行に伴う制度。比較的軽度の障害者が働く「福祉工場」などはA型、重度の障害者らが活動する「作業所」「授産施設」などはB型事業所に移行している。